

園だより

2024年8月1日

社会福祉法人
緑の丘福祉会
ののかぜ保育園

* 夏を満喫して元気に遊ぼう！！

* いっぱい遊び、しっかり、食べ、眠り
心も体もたくましくな～れ！！



8月の予定

1	木	伝言ダイヤル・経営部会	11	日		21	水	誕生会
2	金		12	月	祝日	22	木	避難訓練
3	土		13	火	保育協力日	23	金	
4	日		14	水	保育協力日	24	土	
5	月		15	木	保育協力日・伝言ダイヤル	25	日	
6	火	平和の取り組み(幼児)	16	金		26	月	
7	水	職員会議	17	土		27	火	名古屋市交渉
8	木		18	日		28	水	
9	金		19	月		29	木	
10	土	保育協力日	20	火	法人事務局会議	30	金	
						31	土	

保育協力よろしくお願いします

8月10日(土)～15日(木)の保育協力ありがとうございます。出来るだけこの期間で集中して職員は休みを取らせていただきます。



この期間に登園される方は弁当を持ってきて頂くこととなります。よろしくお願い致します。

戦争のない平和な社会を守って行きましょう

8月6日、9日は広島・長崎に原爆が投下されて多くの人たちの命が一瞬にして無くなりました。そして、8月15日は終戦記念日です。多くの人を苦しみや悲しみに巻き込んだ戦争を二度と起こしてはなりません。戦争の放棄を謳った憲法9条を生かし、戦争のない平和な社会を子どもたち手渡していくことが私たち大人の役割です。

「へいわ」について考えよう

8月6日(火)は子どもたちと「へいわ」について考え合う機会を計画しています。終戦から79年。戦争を知る人語ることのできる人はますます減っています。

「どうせ声をあげても何も変わらない」そう思ってしまいそうな時だからこそ平和をあきらめない。「誰の子どもも殺さない、殺させない。」「人としての尊厳を奪わない、奪わせない」平和のために何ができるのか考えていきたいですね。

6日は、次の世代を生きる子どもたちと戦争はぜったいあってはならないことを考え合える機会になればと思っています。又、玄関に毎年恒例「平和文庫」を準備しました。新しい絵本もあります。家族でも絵本を通して「平和」について考えてみるのはいかがですか？



夏の研修へ・・・7/27・28・29・全国保育団体合同研究集会 IN 熊本に・・・

この時期、職員は研修に出かけ、子ども達の豊かな育ちを願い、他園の実践を聞いたり保育の学びを深めに全国あちこちの研修に行っています。今年度は、熊本の合研へ橋本、新城で参加しました。全国から集まった仲間と共に、記念講演や全国の実践を聞き学び深い3日間となりました。一部研修の感想を記載します。

(橋本調理師より)

熊本合研に参加して、全国に子どもを真ん中にして考える人がこんなに沢山いるんだ！と実感しました。分科会では、実践を聞いて、話してののかぜで、こんなことしてみたいなというヒントやパワーをもらえました。とても充実した三日間でした。

(新城より)

熊本県に初上陸。台風が通過した後の為か暑い、、、。名古屋よりも暑い熊本でした。開催地企画の「くもをながめるひと、ゆめをみるひとへ」の劇ではプロのミュージカルを見ているような完璧なステージに圧巻。熊本実行委員会の熱い思いがステージから伝わってきました。2日目は、分科会の運営に携わりました。若い職員が1歳児の生活とあそびについて悩みながらも今何が必要かを考え実践を行ってきた姿に胸が熱くなりました。今回はののかぜ保育園は実践は出しませんでした。全国に保育実践を出しながら学んでいきたいと感じた三日間でした。

新米園長のつぶやき (No.6)

夏と言えばアウトドア。この時期になると”今年の夏はどこに遊びに行こうか”とワクワクする。キャンプ、川遊び、登山、海水浴・・・毎週土日はリフレッシュ休暇と称して心と身体を自然の中で解放するのが目的だ。子どもが小さいころ、お盆の時期に子育て仲間5家庭程で、4泊5日のキャンプに行くのが恒例行事になっていた。(10年くらいは続いた)場所は川あそびができる「和知野川キャンプ場」。そこで子どもたちは、毎日川遊び、大人は毎日、宴会だった。保育園から小学生まで総勢15人の異年齢保育。子どもたちの中には仕切り担当、ご飯作り担当、あそび担当、お世話担当等いろいろな係が自然にでき5日間を満喫していた。買い物先まで車で45分かかる山間の為、しょうゆが切れたり、卵がなくなる等ピンチがあると「隣の人に交換してもらいにいってくる」としっかり者の女の子たちが、お菓子や野菜をもって物々交換へ。昔は自分も隣の家トイレトペーパーやしょうゆを借りに出かけていたが今は、ご近所付き合いのない家庭も増えている中、キャンプ場で見ず知らずの人に声を掛けられるわが子たちはすごい！と親同士で絶賛していた。キャンプでは時間に追われる忙しい日常から離れ、日が沈んだら寝て、朝日が昇ったら起きる。当たり前なことだがそんな時間に左右されない生活が現代人にとっては必要なんだと話していた。キャンプは、子どもたちにとってもコミュニケーション能力が育ったり、トラブル回避能力を学んだり、感動を共有できたりと、子どもの発達にとっても良い影響があるようだ。子どもと一緒に「つくる」「あそぶ」経験をこの夏に是非。